

1 優良農地の確保と有効活用・農村景観の保全

めざす姿 優良農地が確保され、農業・農村の有する多面的機能が発揮されている。

	単位=ha	推移 (R4見込)						目標
		H29	H30	R1	R2	R3	R4	R8
農振農用地面積		1,865	1,861	1,859	1,854	1,850	1,847	1,834
遊休農地面積		16	18	18	18	17	17	13
環境保全型農業直接支払事業取組面積		14	13	11	13	16	15	31

- 5年度のポイント**
- ① 農業生産基盤の強化、農地・農村の多面的機能の保全
 - ② 優良農地の確保と適正な土地利用の推進

① 農業生産基盤の強化、農地・農村の多面的機能の保全

【予算額 119,761千円】

水田の利活用促進に必要な基盤整備を進め、営農条件を改善し農作業の効率化を図ります。また、老朽化した農業用施設の改修・改良を促進し、施設の耐震化、維持管理の低減に努めます。

【主な事業】

□ 多面的機能支払交付金事業

継続

【予算額 95,746千円】

農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るために地域の共同活動に支援を行い、地域資源の適切な保全管理を推進します。 令和5年度対象農地：約1,102ha

令和5年度 多面的機能支払予定面積

組織名	新規/継続	予定面積 (ha)		
		農地維持	共同活動	長寿命化
大田切地区農地・水環境保全管理協定	継続	446	446	446
駒ヶ根竜東ファーム	継続	55	55	55
下平地域水土里を守る会	継続	155	155	155
中田切井自然環境を守る会	継続	95	95	95
栗林河原を守る会	継続	15	15	15
駒ヶ根東部地域広域協定	継続	336	336	336
合計		1,102	1,102	1,102



共同活動による水路の草刈の様子



破損した水路の修繕

□ 農業基盤整備事業

- ・ 農地耕作条件改善事業(竜東地区) **継続** 【予算額 5,300千円】
竜東土地改良区の区域内において、水路施設の改修工事を実施する。
水路改修工事 L=50m
- ・ 農村地域防災減災事業(大徳原地区) **継続** 【予算額 4,800千円】
中央道水路橋の防災機能強化を図るため、耐震補強工事を実施する。
中央道水路橋耐震補強工事:1橋
- ・ 県営圃場整備事業(宮の前地区) **継続** 【予算額 3,135千円】
農地形状の整形、また耕作道路、水路を整備することにより地域内の営農条件を改善し、農作業の効率化を図ります。 対象区域面積:約24ha



圃場整備されていない農地の状況



圃場整備により営農条件が改善された農地

〈重点4 竜東振興プロジェクト〉

- ・ 竜東振興土地改良基盤整備事業(新宮川岸地区) **継続** 【予算額 2,063千円】
リニア発生土を活用した土地改良事業を実施し、農地の区画整理や非農用地の創出を行う。
対象区域面積:約8.1ha

□ その他事業

- ・ 市単緊急農地防災事業、公共水域維持管理事業、地すべり地区管理委託、農村環境改善センター管理事業 等 **継続** 【予算額 8,717千円】

② 環境保全型農業支援推進

継続 【予算額 1,312千円】

農業の持つ物質循環機能を生かし、生産性との調和などに留意しつつ、土づくりなどを通じて化学肥料、農薬の使用などによる環境負荷の軽減に配慮した持続的な農業生産活動を支援推進します。

□ 環境保全型農業支援



2 暮らしを豊かにする魅力ある地域農業の創出

めざす姿 次世代に繋がる、魅力あふれる農業が実現している。

	推移 (R4見込)						目標
	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R8
新規就農者数 (累計) 単位=経営体	33	37	38	42	43	49	52
有害鳥獣被害 単位=千円	3,180	4,679	3,576	4,750	5,108	4,500	4,000
認定農業者数 (経営体)	79	77	79	77	79	79	80

4年度のポイント ① 地域営農の推進
② 農業の安定運営への取組み

① 多様な担い手や後継者の育成確保対策の推進

継続

【予算額 18,878千円】

農業の活性化を図るため、中核となる多様な農業経営体の育成と後継者及び新規就農者の確保、育成を推進します。

- 担い手育成の推進
- 新規就農者支援
- 新規就農準備校開校
- 農業制度資金利子補給
- 収入保険加入促進補助
(保険料の1/2以内。1回限り)



新規就農準備校風景

② 農業生産組織の機能強化

継続

【予算額 15,041千円】

望ましい農業構造を確立するとともに農業生産組織の機能強化を図ります。
営農センター機能の指導体制強化と米政策転換期に向けた対応。

- 地区営農組合等地域営農組織の強化
- 米生産調整の推進
- 農地中間管理機構を活用した農地集積の推進
- 組織毎に地域特色を出した農業の推進

③ 活力ある産地形成

継続

【予算額 425千円】

需要に応える供給体制を整備するとともに、技術開発と普及により安定経営と自然にやさしい農業を推進し、広域的な交流に繋げるとともに、都市との交流体験と魅力的な地域農業の創出を推進します。
安全安心な食糧生産の普及と消費者ニーズに即した振興作物やごまの栽培促進を図ります。



ごまのマルチ同時播種作業

- ごまプロジェクト支援
- 伊那谷アグリイノベーションとの産学官連携

④ 6次産業化の推進

継続

【予算額 1,000千円】

6次産業化に向けた付加価値を高めるための研究を基に、地域資源を活かした特産品づくりや新商品の開発、販路開拓や流通体制の整備等、地域における6次産業化の推進を支援します。

□ 6次産業化特別推進事業補助金

□ 農商工連携の推進

□ 信州大学農学部共同研究



地域ぐるみの6次産業化への取組み

⑤ 有害鳥獣駆除対策の推進

継続

【予算額 4,000千円】

有害鳥獣による農作物の被害を減少させるため、関係機関や組織と協力して、効果的・効率的な駆除対策に取り組めます。

□ 有害鳥獣被害対策事業の推進

□ 農作物災害対策の推進



有害鳥獣一斉駆除



市街地出没サルの対応



竜東地区へ大型サル捕獲檻の設置

⑥ 農村地域の活性化

継続

【予算額 125,795千円】

中山間地域の振興と地域ぐるみの農村環境の保全、多面的機能を発揮するため、農業と共生できる地域社会を構築します。農地中間管理事業・利用権設定等促進事業・農地情報地図システムなどの活用により、農用地の利用集積の一層の促進と耕作放棄地の解消を図りながら、農地の効率的な運用規模拡大の支援と農作業受委託を進めます。

また、竜東の玄関口に位置する新宮川岸地区に、農産物直売所や農産物加工所などの農業振興施設を整備し、「シルクミュージアム」や「ふるさとの家」などと連携しながら、竜東地域の農業振興をはじめ、地域の活性化を図ります。

〈重点4 竜東振興プロジェクト〉

□ 竜東地域における農業振興と地域活性化の推進
・ 農業振興拠点施設整備計画の策定

継続

【予算額 300千円】

□ シルクミュージアム運営事業

・ あり方調査・研究(新規)

・ 施設運営、施設管理、施設修繕外

継続

【予算額 41,802千円】

・ 糸平フェスティバルの実施

□ 駒ヶ根ふるさとの家運営事業

継続

【予算額 11,295千円】

□ 中山間地域等直接支払事業

継続

【予算額 71,598千円】

□ 農地中間管理事業

継続

【予算額 800千円】

3 新しい技術を活かしたスマート農業の推進

めざす姿

- ロボットやICT等の先端技術を活用することで省力化・効率化が進み、規模拡大された農業経営体が増えている。
- 知識や経験に関わらず、誰もが取り組みやすい農業が実現している。
- 適切な栽培管理が容易となり、高品質な農作物が生産されている。

	推移			目標
	R2	R3	R4	R8
スマート農業の導入経営体数【土地利用型】（累計）	0	2	4	5
スマート農業の導入経営体数【園芸・果樹型】（累計）	0	0	1	5
スマート農業の研修会・検討会等の開催（累計）	0	3	10	30

4年度のポイント

- ① 各地域毎での将来営農ビジョンの検討、スマート農業研究、実証実験の実施
- ② スマート農業導入体制の構築及びスマート農業導入支援

① スマート農業研究・実験等への支援

継続

【予算額 1,000千円】

- ・導入技術と実証実験内容の情報収集及び情報提供。
- ・実証実験による地域に適したスマート農業の研究。
- ・スマート農業に関する研修会等の開催。

(スマート農業機械・機器の例)

- 自動走行機械
- 自動収穫ロボット
- 自走式草刈機
- スマートグラス
- 栽培管理システム
- 自動給水システム 等



栽培管理システム



ラジコン式抑草・除草機

② スマート農業機械等導入支援補助

農業者の高齢化や減少による労働力不足等を解消し、農作業の効率化、生産性や所得の向上に資するスマート農業機械等の導入に対し支援します。

【推進方策】

- ・地域（農業経営体）において、現状・課題の分析と今後の推進方策を検討し、必要とするスマート農業技術を選択した場合の導入効果が最大限発揮できるよう進めていきます。

拡充

【予算額 3,000千円】



自動運転田植機

4 多面的機能を発揮して暮らしを守る森林づくり

めざす姿 ●森林のもつ多面的機能が発揮され、生活基盤が支えられている。
 ●森林整備を促進することで、地域資源である森林が有効活用されている。

		推移(R4見込)			目標
		R2	R3	R4	R8
森林整備面積	単位=ha	41	43	45	70
松くい虫被害枯損木処理量	単位=本	913	602	900	900

5年度のポイント ① 森林整備の促進
 ② 林道開設の推進

① 森林整備の計画的な推進 【予算額 35,208千円】

森林のもつ多面的機能を持続的に発揮できるよう、計画的な森林整備を進めます。

【主な事業】

□ 森林整備促進対策事業 **継続** 1,500千円

森林整備地域活動支援事業等により森林整備を促進します。

内容： 間伐事業嵩上げ補助 ・ 国県の補助金に事業費の15%以内の嵩上げ補助

□ 林道開設

森林整備を促進するために、林道の開設工事を実施し、林内路網の整備に努めます。

・ 林道開設工事:天白高烏谷線 L=50m W=3.0 **継続** 19,800千円

・ 林道補修事業:林道21路線の維持管理 **継続** 11,350千円

□ 市有林造成事業 **継続** 2,558千円

市有林の森林整備、維持管理を実施します。

内容： 市有林の境界明確化
 市有林の整備促進 等



森林整備(間伐)実施前



森林整備(間伐)実施後

② 森林被害の防止対策の推進

【予算額 41,124千円】

有害鳥獣による農林被害を軽減するため、シカなどの個体数調整の促進や、松くい虫などによる被害から森林を保護するため、薬剤散布と被害木処理により緑豊かな森林の保全と景観形成に努めます。

【主な事業】

□ 野生鳥獣対策事業

- ・ 鳥獣被害対策実施隊報酬、有害鳥獣駆除従事者特別障害保険等
中央アルプスにおける野生動物被害防止対策の推進
(中央アルプス野生動物対策協議会)

継続 508千円

- ・ 狩猟免許取得補助

継続 188千円

□ 松くい虫対策事業

- ・ 枯損木の処理(市内全域)、薬剤散布(東伊那地区)、樹幹注入薬剤補助

継続 40,428千円

③ 森林資源の多目的活用

【予算額 1,880千円】

地域産材の公共建築物への利用を促進し、農業、商工業、観光との連携により広域的な交流を促進し、森林空間の有効活用と森林資源の多様な利活用を図ります。

【主な事業】

□ 森林の里親促進事業

里親企業の協力を得て、市内の森林整備を実施します。また、市民の皆さんが森林に親しむ機会を提供していきます。

継続 480千円



森林の里親企業による作業状況

□ 駒ヶ根高原の森林整備

駒ヶ根高原の新進整備を行い、潤いと憩いの空間を創出します。

継続 1,400千円

④ 森林環境譲与税の活用

【予算額 21,168千円】

森林環境譲与税等を活用し、民有林整備に向けた利活用を推進します。

(令和5年度森林環境譲与税20,600千円、森林環境譲与税基金繰入金 565千円、森林環境譲与税基金利子3千円)

- ・ 森林整備意向調査
- ・ 市有林境界明確化
- ・ 林道補修工事、維持管理委託
- ・ 松くい虫対策事業の一部 等

政策 4-2	にぎわいと活力ある商工業を振興します
総合戦略 1-(2)	小規模事業者への支援

R5.2
商工観光課

1 活力ある商業・サービス業の振興

めざす姿 特色あるサービスが個店で提供され、また新しく事業に挑戦する人が増えることで、活力ある地域商業が展開されている。

	推移 (R4年度は見込)								目標
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R8
空店舗を活用した出店者数 (延数)	11	13	17	20	26	32	35	37	60
こまがね創業サポート窓口相談者数	-	-	-	19	33	21	18	18	20
上記のうち創業者数	-	-	-	10	16	7	7	9	5

5年度のポイント ① まちなかに集客が生まれるための支援
② 新規創業者支援

① 商店街活性化事業 **継続** 【予算額 2,270千円】

中心市街地空き店舗等活用事業 1,660千円

事業者及び商店街団体等が、中心市街地や対象地域内の集積地にある空き店舗を活用して、集客のための事業を実施する場合、改装費及び賃借料の一部を補助します。

■対象経費	改修費または付帯設備等の設置費、空き店舗賃借料
■補助率	(改装費) 1/2以内 限度額100万円 (賃借料) 1/2以内 3万円/月額 12月分

商店街駐車場運営支援事業 610千円
対象: 中央駐車場(旧日の出町)、優YOUパーク(旧仲町)



② 商工会議所指導育成事業 **継続** 【予算額7,400千円】

駒ヶ根商工会議所が基本方針に基づき実施する各種振興事業に対し支援します。新規創業者に対する商工会議所の機能充実を支援します。

③ こまがね創業サポート事業 **継続**

市、商工会議所に「こまがね創業サポート窓口」を設置し、また、市内金融機関等との連携を強化することにより、新たに起業する人を支援します。

2 人が集まる「まちなか」の魅力づくり

めざす姿

- 「まちなか」が生活に便利な場所となり、暮らす人、買い物に来た人、交流する人など多様な目的を持った人々が日常的に「まちなか」を歩いている。
- イベントなどで賑わいのある「まちなか」が形成されている。

	推移				目標
	H27	H29	R1	R3	R8
市民満足度調査（中心市街地活性化の取り組み）	2.37P	2.62P	2.66P	2.59P	3.0P
市民満足度調査（1年間に10回以上中心市街地を訪問する比率）	-	41.2%	35.5%	33.6%	50%

5年度のポイント

- ① 中心市街地再整備の基盤づくり
- ② まちなか賑わいイベントの推進

① 市街地再生推進事業

継続 【予算額 7,200千円】

中心市街地の再生に向けて、商品のブランディング化などこまがねテラスの取り組みを推進し、ハード事業においても地元や関係機関と協議しながら、将来に向けた基盤づくりを進めます。

中心市街地再生推進業務 4,900千円
コーディネート・ブランディング業務、実践者支援

中心市街地未来ビジョン検討業務委託 2,300千円
市民が思い描く将来の中心市街地のまちづくりビジョンをデザイン化し、さらにまちづくり関係者と協議を進め、巻き込みながらエリアプラットフォームを構築してまいります。



こまがねテラス「こまぜみ」

② まちなか賑わいイベント事業

継続 【予算額 4,500千円】

夏イベント 2,300千円
7月に市街地で行われる手作りの市民まつりを支援します。

まちづくりイベント(駒ヶ根商工会議所) 1,200千円
市内各店舗による売り出しイベントを支援することにより、まちなかの賑わいや店舗の売上向上を図ります。

商店街賑わい創出事業 1,000千円
まちなかの賑わいと活力を作るためのイベントで、新しい生活様式などに対応して実施する事業に、予算の範囲内で経費の一部を補助します。



R4商工まつり

■対象者	商店街団体、コミュニティ団体(注)
■対象経費	報償費、印刷製本費、広告宣伝費、会場使用料、賃借料(リース)、備品購入費、原材料費、感染予防費
■補助率	2/3以内 限度額30万円

(注)コミュニティ団体は商店街団体と連携すること。

*令和4年度実績：1イベント/事業

③ 駅前ビル活性化センター管理事業

継続 【予算額 45,420千円】

中心市街地の活性化に資するため、市民のコミュニティの場を提供します。駅前ビル全体及び駅前駐車場の管理を指定管理者が行います。

指定管理料 16,923千円
外壁タイル工事その他整備 16,800千円
その他管理費(光熱水費、土地賃借料など) 11,697千円

利用状況	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4見込
会議室利用人数	26,854	27,626	30,268	32,976	29,391	12,638	11,685	13,000
駐車場利用台数	119,831	130,688	118,129	124,982	127,925	97,592	101,414	105,000

3 新たな高付加価値産業の振興と企業誘致の推進

めざす姿

- 多様なニーズに応えながら、次世代につながる付加価値の高い新たな産業が創出される。
- 先端分野の産業、内需型・研究開発型企業の誘致により地域経済が活性化している。

年度	推移 (R4は見込み)							目標
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R8
製造業の製造品出荷額 (R4～経済センサス) 単位=億円	1,344	1,461	1,718	1,600	1,600	1,571	1,551	1,800
工場等の立地件数 単位=件 (累積)	8	10	16	17	18	19	20	23
サテライトオフィスを設置した企業数 (累積)	2	2	2	3	3	3	3	5

*目標は総合計画の目標値

5年度のポイント

- ① 企業誘致活動の推進
- ② 高付加価値産業等の立地に向けた基礎調査を実施

- ① 企業誘致アンケート及び企業訪問の実施 継続 【予算額 3,121 千円】
- 誘致パンフレット作成、アンケート調査、情報収集、訪問活動 1,397 千円
 企業立地支援事業への参加 73 千円
 既存工業団地管理 1,151 千円
 工業用地基礎調査 500 千円

- ② 高付加価値産業等適地調査事業 新規 【予算額 4,400 千円】
- 高付加価値産業や地域における新事業創出産業等の新規立地や市内企業の移転・拡充の受け皿となる新たな産業適地選定等の基礎調査を行う。

- ③ 特定地域工場等設置補助事業 継続 【予算額 71,114 千円】
- 新增設の促進のため、特定地域への工場新增設等に対する補助
 固定資産税相当額について補助(3年間:6社) 24,114 千円
 用地取得費助成事業(30%以内:3社) 47,000 千円

助成実績	年度	H30	R1	R2	R3	R4
固定資産税相当額助成事業 (単位:件)		3	7	6	7	5
用地取得費助成事業 (単位:件)		-	3	4	4	3

- ④ 企業立地制度資金預託事業 継続 【予算額 63,433 千円】
- 企業立地促進のため、預託制度による低利な制度資金により支援
 既存企業分(1社) 30,100 千円
 新規企業分(1社) 33,333 千円

利用実績	年度	H30	R1	R2	R3	R4
企業立地資金預託事業 (単位:件)		3	3	3	3	2

- ⑤ テレワーク推進事業 継続 【予算額 4,029 千円】
- 駒ヶ根テレワークオフィス(Koto)の運営及び施設や設置機器の管理を行う。 4,029 千円

4 地域を支える中小企業の経営基盤強化と人材の創出

めざす姿

- 企業、行政、金融機関、商工団体等あらゆる関係団体が連携し、中小企業の経営基盤が安定・強化し、地域産業が活性化している。
- 地域経済を支える優秀な人材の育成と確保がなされ、誰もが能力を発揮できる働く場所が確保されている。

	推移 (R34は見込み)				目標
	R1	R2	R3	R4	R8
販路拡大・展示会出展に伴う新規取引件数 単位=件	13	3	3	29	21
テクノネット駒ヶ根講座等参加者 単位=人	566	262	412	419	800

*目標は総合計画の目標値

5年度の ポイント

- ① 中小企業融資促進事業
- ② 中小企業の新たな成長戦略等に向けた支援を強化します。

① 資金融資制度充実

継続

【予算額232,758千円】

金融機関、信用保証協会と協調し、低利の融資制度により中小企業者の経営安定を支援
 信用保証料の一部を市が負担し、中小企業者の負担を軽減
 融資目標額 市制度2.4億円、県制度1.9億円
 小規模事業者向けの資金の拡充等

② 中小企業の新たな成長戦略に向けた支援等

継続

【予算額13,150千円】

地域のものづくり産業を持続的に発展させ、コロナ禍で変化した不確実性の高まりに対処するための戦略として、ダイナミック・ケイパビリティ(企業変革力)の強化を図るため、新たなビジネスモデルの構築や高度な技術者などをはじめとして時代の変化に的確に対応できる優秀な人材の育成・確保に向けた取り組みを強化する。

販路拡大のため、技術や製品の展示会等の出展に要する経費の一部を補助	8,320千円
次世代を担う新製品・新技術開発費用の一部を助成	3,060千円
従業員の人材育成支援のため、専門機関等の研修に参加する経費の一部を補助	1,500千円
(公財)長野県産業機構の専門家派遣事業に要する経費の一部を補助	270千円

③ テクノネット駒ヶ根事業

継続

【予算額 3,800千円】

異業種連携組織であるテクノネット駒ヶ根の活動支援を行い、個々の企業の体質強化を図る。



リーダーシップ研究会



事業承継研究会

④ 雇用対策協議会を中心とした雇用対策支援

継続【予算額 500千円】

広域連携による企業説明会等の活動によりUIターン就職による雇用確保を図る。
高校進路指導職員の情報交換を実施し、地元企業への就職を促進する。
無料職業紹介所の運用により、UIターン就職を促進する。



駒ヶ根雇用対策協議会
高校等情報交換事業



企業ガイドブック2024

⑤ 勤労者互助会育成事業と中小企業の経営安定化

拡充【予算額 4,130千円】

市内の中小事業所に勤務する勤労者及び事業主の福利厚生事業を担う勤労者互助会の運営を支援し、勤労者の福利厚生の増進を図る。